

## 文化財保護（平成 19 年度）

### 久留倍遺跡保存活用事業

#### (1)北勢バイパス附帯工事

久留倍官衙遺跡における歩行者用横断地下道及び史跡地における雨水排水流末の暗渠排水の工事に着手した。（19・20 年度の 2 カ年計画）

#### (2)史跡整備

史跡地の維持管理のため、史跡地の排水・土砂管理・草刈を行った。

#### (3)発掘調査報告書作成

前年度に発掘調査した歩行者用横断地下道スロープ部分の発掘調査報告書『久留倍遺跡 3』を作成した。



（久留倍遺跡出土品）

### 普及・公開活動

市内の指定文化財・登録文化財をホームページで公開している。また、発掘調査の成果を幅広く市民に公開するために、以下の事業を行った。

#### (1)第 1 2 回発掘展

日 時	H19.7.18～8.26
場 所	四日市市立博物館 1 階エントランスホール
内 容	前年度発掘調査速報（久留倍遺跡） 歴史講座「久留倍官衙遺跡とは」・「くるべムラの木の生活」を開催
入場者数	880 名

#### (2)出土品展示

期間・内容	～ H19.5	智積廃寺
	H19.6～	小判田遺跡
	H19.9～	北小松古墳群
	19.12～	山奥遺跡
	〔場所〕	市役所 1 階ロビー

#### (3)施設利用・遺跡見学等

日 時	施設・遺跡	利用者
-----	-------	-----

H19.5.31	文化財整理作業所	神前小学校
H19.10.31	久留倍遺跡(遺跡見学)	JR ジパングクラブ
H19.11.7	久留倍遺跡(遺跡見学)	JR ジパングクラブ
H19.11.8	久留倍遺跡(遺跡見学)	中央工業高校土木科 3 年生

#### (4)出前講座等

日 時	利用団体等
H19.5.12	上名ヶ丘 話そう会
H19.11.18	四日市市難聴者友の会
H20.2.17	久留倍官衙遺跡を考える会

#### (5)学校への出土遺物貸出

大谷台小学校 海蔵小学校

### 文化財の維持管理等

環境整備 (剪定・草刈・清掃)	国指定天然記念物 御池沼沢植物群落
	国指定天然記念物 東阿倉川イヌナシ自生地
	国指定天然記念物 西阿倉川アイナシ自生地
	県指定天然記念物 川島町のシデコブシ群落
	県指定記念物(史跡) 天武天皇迹太川御遥拝所跡
	県指定記念物(史跡) 広古墳 A 群
	市指定記念物(史跡) 大膳寺跡
	市指定記念物(史跡) 茂福城跡
	市指定記念物(史跡) 冠山茶の木原
	市指定記念物(史跡) 経塚公園
	市指定有形文化財(建造物) 旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)
	永井遺跡公園
	保々の中世旧跡
	貝野遺跡公園
説明板の取替	国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」
	埋蔵文化財包蔵地「智積廃寺」
	市指定記念物(史跡)「天武天皇迹太川御遥拝所跡」
	市指定文化財「建福寺」(絵画 仏涅槃図、史跡 泗水の井戸)

### 第 54 回文化財防火デー

1 月 26 日の文化財防火デーを中心に査察 37 ヲ所を 1 月 21 日～27 日に、消防訓練 3 ヲ所を 1 月 24 日～27 日に実施した。

### 埋蔵文化財の発掘調査等

開発行為計画地内に所在する埋蔵文化財で、事前協議の結果、現状保存できないものについて、記録保存のための発掘調査、試掘調査、工事立会を実施した。

[発掘調査]

	遺跡名	所在地	調査原因
1	北中寺遺跡	石塚町	宅地造成
2	平戸山遺跡	西松本町	宅地造成

[試掘調査]

	遺跡名	所在地	調査原因
1	斑鳩B遺跡	羽津町	共同住宅
2	貝野遺跡	東坂部町	個人住宅
3	羽津広遺跡	大字羽津	雨水調整池工事
4	茂福城跡	茂福町	宅地分譲
5	坪ノ内遺跡	高角町	個人住宅
6	羽津広遺跡	大字羽津	店舗
7	大矢知山畑遺跡	大矢知町	共同住宅
8	間ノ田遺跡	広永町	共同住宅
9	下ノ宮南遺跡	下ノ宮町	共同住宅
10	寺坊谷古墳群	垂坂町	道路建設
11	北中寺遺跡	石塚町	個人住宅
12	志氏神社古墳	大字羽津	集会所建替
13	間ノ田遺跡	広永町	共同住宅
14	宮ノ前遺跡	芝田	共同住宅
15	北中寺遺跡	石塚町	分譲住宅
16	平戸山遺跡	西松本町	共同住宅

[工事立会]

	遺跡名	所在地	調査原因
1	大膳寺跡	別名	下水管渠布設
2	四ツ谷遺跡	東坂部町	電柱新設
3	大矢知山畑遺跡	大矢知町	電柱新設
4	浄裕遺跡	中川原	宅地造成
5	瀬戸山遺跡	小牧町	個人住宅
6	大垣外遺跡	南小松町	個人住宅
7	浄裕遺跡	中川原	個人住宅
8	茂福城跡	茂福町	ガス導管敷設
9	東ヶ谷遺跡	東坂部町	電柱移設
10	市場城跡	市場町	個人住宅
11	西ヶ谷遺跡	東坂部町	電柱移設
12	久留倍遺跡	大矢知町	調整池建設
13	松ノ木遺跡	采女町	污水管渠布設
14	東ヶ谷遺跡	東坂部町	污水管渠布設
15	上里遺跡	久保田	電柱移設
16	上里遺跡	久保田	園舎建設

17	風呂田遺跡	大字松本	宅地造成
18	浄裕遺跡	中川原	污水管渠布設
19	鈴原遺跡	桜町	污水管渠布設
20	貝野遺跡	東坂部町	污水管渠布設
21	下之宮遺跡	下之宮町	個人住宅
22	下之宮遺跡	下之宮町	共同住宅
23	上畑遺跡	尾平町	個人住宅
24	下之宮遺跡	下之宮町	電柱移設
25	下之宮南遺跡	下之宮町	污水管渠布設
26	伊勢安国寺跡	西日野町	個人住宅
27	貝野遺跡	東坂部町	接地極新設工事
28	下之宮遺跡	下之宮町	ガス導管敷設
29	垂坂遺跡	大字羽津	倉庫新築
30	仁王堂遺跡	山村町	下水管布設
31	東ヶ谷遺跡	東坂部町	污水管渠布設
32	大矢知山畑遺跡	大矢知町	下水管布設
33	四反田遺跡	大矢知町	幹線水路築造
34	下之宮遺跡	下之宮町	ガス導管敷設
35	茂福城跡	茂福町	既存建物解体
36	上野遺跡	大字阿倉川	集合住宅
37	大膳寺跡	別名	個人住宅
38	赤堀城跡	赤堀	ガス導管敷設
39	浄裕遺跡	中川原	個人住宅
40	茂福城跡	茂福町	共同住宅
41	茂福城跡	茂福町	共同住宅
42	東ヶ谷遺跡	東坂部町	電柱移設
43	大矢知山畑遺跡	大矢知町	共同住宅
44	志氏神社古墳	大字羽津	集会所建替
45	上里遺跡	久保田	共同住宅
46	北中寺遺跡	石塚町	宅地造成



(試掘調査の様子)

## 指定文化財の保存整備

国・三重県・四日市市の指定文化財で、保存を図るために必要な修理などを下記の通り行った。

対象文化財	目的	補助金交付		
		国	県	市
県指定有形民俗文化財「大入道山車」	頭部修理			
県指定有形文化財(絵画)「絹本著色釈迦三尊十六善神像」	全面修復			
県指定記念物(史跡)「伊勢安国寺跡」	擬木柵設置			
市指定無形民俗文化財「市場町獅子舞」	獅子頭修理			
市指定記念物(史跡)「富田一本松」	灯籠等修理			
市指定無形民俗文化財「大念佛」	台車新調			
市指定有形文化財(建造物)「旧四日市市役所四郷出張所」	車寄せ上部手すり修理			

## 19年度の文化財指定

種別	名称	員数	所在地	所有者	指定日	指定書
市指定有形文化財(古文書)	四日市宿本陣清水家文書	一括	四日市市立博物館	個人	H19.8.16	有形26号

## 文化財関連会議

### (1)文化財パトロール調査員会議

埋蔵文化財や記念物などの管理及び環境保全の現状について調査を行う文化財パトロール調査員の会議

開催日	場所	内容
H19.4.17	四日市市役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度パトロール調査員の委嘱</li> <li>平成18年度のパトロール調査員活動の成果報告</li> <li>平成19年度のパトロール計画について協議</li> <li>平成18年度の主要事業報告及び平成19年度主要事業について</li> </ul>

### (2)北勢四市文化財協議会

四日市・桑名・鈴鹿・亀山の4市の文化財保護審議会委員相互の連携を保ち、文化財保護事業の推進を図る。

開催日	場所	内容
H19.11.29	鈴鹿市	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市の文化財保護の取組み状況報告 行政区域を越えての連携の模索</li> <li>大黒屋光太夫記念館 特別展「伊勢湾近辺の漂流者たち」見学</li> </ul>

### (3)文化財保護審議会

教育委員会の諮問に応じて文化財の調査や保存・活用について審議し、必要と認めることを建議する。

開催日	場所	内容
第1回 H19.8.2	四日市市立博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護行政平成18年度事業報告と19年度事業予定について</li> <li>有形文化財(古文書)指定について</li> <li>市立博物館内「丹羽文雄記念室」等見学</li> </ul>
第2回 H20.2.8	四日市市役所	<ul style="list-style-type: none"> <li>無形民俗文化財指定申請に対する協議</li> <li>19年度実施事業報告</li> </ul>

### (4)御池沼沢植物群落会議

御池沼沢植物群落の計画的な維持管理について、関係者との連絡調整をはかる。

開催日	場所	内容
H19.6.12	御池沼沢等	市内天然記念物の現状と課題の把握のため、現地視察と協議
H19.12.21	四日市市役所	御池沼沢植物群落再生計画について

国・県・市指定文化財一覧表

文化財保護法で指定・登録されている文化財（国指定文化財・登録有形文化財）

種別	名	所在地・所有者（管理者）	概要及び指定年月日	
有形文化財	建造物	1 四日市旧港港湾施設	港地区・稲葉町、高砂町 四日市市	明治26・27年に築造の近代化遺産（港湾）。旧港北・西防波堤、波止場改築記念碑稲葉三右衛門君彰功碑。平成8年12月10日指定。
		2 末広橋梁（旧四日市港駅鉄道橋）	港地区・千歳町 浜田地区・末広町 日本貨物鉄道株式会社	現役で稼働する国内最古の鉄道可動橋であり、「鉄の橋百選」にも選ばれている。平成10年12月25日指定。
	彫刻	3 慈恵大師坐像	大矢知地区・垂坂町 観音寺	南北朝時代。木造桧材寄木造りで、像高80.3cm。胎内に「観応2年（1351）大仏師大口法橋乘賢」の墨書。大正2年8月20日指定。
		4 不動明王立像	日永地区・日永二丁目 大聖院	平安時代。木造桧材一木造りで、像高95cm。寺伝によると、この像は源頼義の念持仏であったといわれる。大正4年8月10日指定。
		5 阿弥陀如来立像と像内納入文書	富田地区・南富田町 善教	鎌倉時代。木造桧材寄木造りで、玉眼・漆箔が施してあり、像高79cm。像内納入文書の大半は摺仏。昭和34年12月18日指定。
	工芸	6 十六間四方白星兜鉢	浜田地区・鶴の森一丁目 鶴森神社	径23cm。16枚の鉄板によって組合わされ、その四方には銀の鍍金が施されていたといわれる。昭和30年2月2日指定。
	書跡	7 榮花物語（富岡本）十冊	四日市市立博物館 個人	鎌倉時代。胡蝶装、唐草文綴り表紙、大型本。本文は10行ないし12行、平仮名まじりの寄合書で傍書校異の書入れがあり、異本系の最古本。富岡鉄斎の旧蔵したものといわれる。昭和34年6月27日指定。
民俗文化財	無形	8 鳥出神社の鯨船行事	富田地区・東富田町他 富田鯨船保存連合会	鳥出神社の例大祭奉納行事で、神社丸・神徳丸・感應丸・権現丸の4台ある。平成9年12月15日指定。
	選択保存	9 北勢・熊野の鯨船行事	富田・港・塩浜・楠地区 各鯨船山車保存会	尾鷲市の鯨船とともに、「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」。平成元年2月27日選択。
記念物	史跡	10 久留倍官衙遺跡	大矢知地区・大矢知町 国土交通省	弥生時代～中世。主な遺構は古代の官衙施設で、他の官衙にはみられない東を向く政庁・正倉院・その他施設を伴い、官衙の全体像や変遷を知ることができる全国的にも貴重な遺跡。平成18年7月28日指定。
	天然記念物	11 東阿倉川イヌナシ自生地	海蔵地区・大字東阿倉川 四日市市	明治35年4月に発見され、世界の植物学界に紹介された。日本の野生ナシの中で最も原始的な種。大正11年10月12日指定。
		12 西阿倉川アイナシ自生地	海蔵地区・大字西阿倉川 四日市市	明治36年6月に発見された非常に珍しいナシ。イヌナシと栽培されているナシの中間の種。大正11年10月12日指定。
13 御池沼沢植物群落	三重地区・西坂部町 四日市市	東部沼沢地に暖地性ミクリガヤの草木群落、西部沼沢地に寒地性ヤチヤナギの灌木群落がある。昭和27年10月11日指定。追加指定昭和51年3月31日、昭和54年6月25日。		
登録有形文化財	建造物	14 旧東洋紡績株式会社富田工場原綿倉庫	富洲原地区・富州原町 三菱UFJ信託銀行株式会社	大正6年に建築された東洋紡績富田工場原綿倉庫。国土の歴史的景観に寄与している近代建築。平成12年4月28日登録。
		15 旧四日市市立図書館	浜田地区・諏訪栄町 四日市市	昭和4年、昭和天皇御大典記念事業として四日市の事業家、熊沢一衛氏が寄付したもの。平成15年1月31日登録。
		16 宮崎本店事務所	楠地区・楠町 株式会社宮崎本店	宮崎本店は古くから続く酒造業の老舗。木造2階建の事務所は、2階外壁の一部をタイル張りとする洋風建築で、正面妻壁上部のモチーフに特徴がある。平成8年12月20日登録。
		17 宮崎本店貯蔵庫A棟	楠地区・楠町 株式会社宮崎本店	切妻造の厚重な構えになる大型の倉庫。他の倉庫群と異なり、腰下羽目板張り、上部は下見板張りとなっている。平成8年12月20日登録。
		18 宮崎本店第4倉庫	楠地区・楠町 株式会社宮崎本店	3連の大型倉庫で元は酒蔵として造られたといわれる。整然とした外観は、酒造倉庫群の景観を引き立てている。平成8年12月20日登録。
		19 宮崎本店第8倉庫	楠地区・楠町 株式会社宮崎本店	外壁は土壁であるが、現在は亜鉛引き鉄板で覆われている。平成8年12月20日登録。
		20 宮崎本店貯蔵庫	楠地区・楠町 株式会社宮崎本店	並列する2棟の倉庫をH型に連結した形式になり、各面に庇が取り付く。茶色の煉瓦造の煙突が付属している。平成8年12月20日登録。

三重県文化財保護条例で指定を受けている文化財（県指定文化財）

種別	名	所在地・所有者（管理者）	概要及び指定年月日	
有形文化財	絵画	21 仏涅槃図	四日市市立博物館 大樹寺	南北朝時代。縦169.5cm。横122.5cm。画面に「詫磨法眼栄賀筆」の落款がある。中世仏画の伝統をよく示す。昭和27年3月13日指定。
		22 真源大沢禅師像	四日市市立博物館 大樹寺	室町時代。縦97.5cm。横49.5cm。右手に払子を持ち、法被をかけた曲ろくに坐した斜右向きの像。昭和27年3月13日指定。
		23 禅源大濟禅師像	四日市市立博物館 大樹寺	室町時代。縦96.3cm。横49.3cm。画像の法被は折蘆描。袈裟は鉄線描で、顔と手の部分は写実的な柔らかい細線描。昭和27年3月13日指定。
		24 仏涅槃図	大矢知地区・垂坂町 観音寺	室町時代。縦159cm。横122cm。軸木の墨書の銘文によって、奈良の絵師、芝法眼尊仲が永禄4年（1561）3月5日に完成したものと判る。昭和32年3月29日指定。
		25 絹本着色釈迦三尊十六善神像	日永地区・日永二丁目 大聖院	鎌倉時代。縦111.7cm横55.7cm。四日市市に現存する絵画としては最古の作品であり、鎌倉時代の仏教画の作風をつたえるものとして貴重。平成17年3月17日指定。
	彫刻	26 地藏菩薩坐像	羽津地区・羽津山町 正法寺	鎌倉時代。木造桧材寄木造りで、彩色・玉眼を施している。総高29cm。胎内に2点の納入物があった。昭和29年4月1日指定。
		27 誕生釈迦仏立像	大矢知地区・垂坂町 観音寺	平安時代。木造桧材一木造りで、総高35.5cm。礼拝仏として作られたものと考えられる珍しい木彫像。昭和30年4月7日指定。

種別		名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日
有形文化財	彫刻	28 地藏菩薩坐像	大矢知地区・垂坂町観音寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、玉眼を施した結跏趺座の坐像。像高80cm。銘文が膝の裏に墨書されている。昭和31年5月2日指定。
		29 阿弥陀如来坐像	四郷地区・西日野町顕正寺	平安時代。木造絵材寄木造りで、玉眼を施している。像53.5cm。昭和32年3月29日指定。
		30 仏頭	四郷地区・西日野町顕正寺	平安時代。木造絵材一木造りで、彩色を施している。総長23.6cm。もと伊勢安国寺にあった仏像の残欠。昭和32年3月29日指定。
		31 毘沙門天立像	三重地区・生桑町千福寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、玉眼・彩色を施している。総高111.5cm。彫技、彩色ともに優れた像。昭和38年1月11日指定。
		32 薬師如来立像	大矢知地区・垂坂町観音寺	平安時代。木造絵材寄木造りで、漆箔を施している。総高151cm。昭和39年10月16日指定。
		33 如意輪観音坐像	日永地区・大字六呂見観音寺	平安時代。木造樞材寄木造りで、彩色・漆箔を施さない素地仕上げ。像高29.8cm。平成11年3月17日指定。
		34 木造阿弥陀如来立像 附像内納入文書1巻19枚	富洲原地区・富田一色町龍泉寺	鎌倉時代。木造絵材割削造で、漆箔・玉眼を施している。像高36.9cm。胎内に経巻1巻、摺仏19枚が納められていた。平成16年10月18日指定。
	工芸品	35 太刀(銘-永仁四年七月)	共同地区・中部人	鎌倉時代。刀長78.5cm、反り2.8cm。呂針穴2個。備前国助光の作で吉岡一文字一派のものである。昭和27年3月13日指定。
		36 陶製灯籠 (萬延元年射和萬古製)	四日市市文化会館 四日市市	江戸時代。高さ174cm、上笠の径50cm。沼波弄山の系統を引く射和萬古で、薄緑色の釉薬が流れ、優雅な姿を保つ。昭和57年4月27日指定。昭和10年12月18日国認定重要美術品。
		37 林コレクション萬古焼	四日市市立博物館 四日市市	江戸時代中期～江戸時代末期。古萬古30点を中心に、古安東5点、有節萬古13点、射和萬古2点、再興安東1点、四日市萬古2点から構成され、萬古焼の系譜を大観できる資料内容。平成18年3月17日指定。
38 短刀 銘 藤正		四日市市立博物館 四日市市	室町時代。長さ26.3cm。茎は、「藤正」の銘をもち、「村正一派」特有の張り出した形をしている。刃文は、波を打ったようによく乱れている。平成18年3月17日指定。	
39 槍 銘 雲林院住包治		四日市市立博物館 四日市市	室町時代。長さ40.4cm。身幅5.5cm。身幅広く姿の整った堂々たる槍であるが作風は大和の手掻派より相州伝に近いものがある。平成19年3月27日指定。	
書跡 書料	40 大般若経(120帖)	保々地区・市場町大樹寺	平安～鎌倉時代。286.263.265.430の4巻に「永禄十二年己巳菊月日宗照首座修補之」の銘記がある。昭和27年3月13日指定。	
	41 銅鐸	四日市市立博物館 菟上耳利神社	弥生時代。総高40.3cm。文久2年(1862)3月21日に朝明郡伊坂村で発見された。偏平鈕式六区袈裟文銅鐸。昭和27年3月13日指定。	
民俗文化財	有形	42 蝙蝠堂民俗玩具	富田地区・富田一丁目 富田文化財保存会	収集・保有されている民俗玩具は、種類も多種多様で、日本をはじめ中国・韓国などのものもある。昭和31年5月2日指定。
		43 鯨船山車	港地区・南納屋町南納屋町鯨船山車 南納屋町鯨船山車保存会	鯨船の起源については明らかではないが、安永年間(1772～1780)頃の記録に「鯨つき」という名で出ている。昭和31年12月5日指定。
		44 大入道山車	港地区・中納屋町中納屋町大入道 中納屋町大入道保存会	文化2年(1805)に名古屋の人形師によって作られたといわれる精巧なカラクリ人形。昭和51年3月31日指定。
記念物	史跡	45 富田の一里塚跡	富田地区・富田三丁目 富田文化財保存会	三ツ谷・日永・采女とともに、東海道の四日市における一里塚跡のひとつ。昭和12年11月10日指定。
		46 日永の追分	日永地区・追分三丁目 四日市市日永地区連合自治会	東海道と伊勢街道の分岐点。四日市・石薬師の両宿場の中間に位置するので、別名「間の宿」という。昭和13年4月12日指定。
		47 日永の一里塚跡	日永地区・日永五丁目 四日市市	元禄2年(1689)に菱川師宣の描いた「東海道置駅図」に一里塚の位置が明記されている。昭和13年4月12日指定。
		48 天武天皇迹太川御遷拝所跡	大矢知地区・大矢知町 四日市市大矢知町町自治会	天武天皇が壬申の乱の時、ここから伊勢神宮を遷拝されたという言い伝えがある。昭和16年5月21日指定。
		49 伊勢安国寺跡	四郷地区・西日野町 四日市市西日野町自治会	平安時代。旧名五位鳥山西明寺。元弘2年(1332)に改称。昭和16年9月26日指定。
	50 広古墳A群	下野地区・大鐘町 四日市市	古墳時代。古墳は2群に分かれ、A群は小型の方墳2基、円墳2基、B群は中型の方墳2基と小型の円墳1基。このうちA群の1・2号墳が昭和44年3月28日指定。	
天然記念物	51 川島町のシデコブシ群落	川島地区・川島町 川島町	丘陵斜面の湧水池付近に樹高4mの成木が約30株、比較的密な群生をなしている。平成3年3月26日指定。	

#### 四日市市文化財保護条例で指定している文化財(市指定文化財)

種別		名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日
有形文化財	建造物	52 観音寺山門	大矢知地区・垂坂町観音寺	江戸時代。本柱を中心とする構架式の構造で、関西地方では極めて珍しい構造の四脚門である。昭和52年3月23日指定。
		53 龍王山宝性寺	大矢知地区・蒔田二丁目 四日市市蒔田町第一自治会	江戸時代。木造二重屋根御堂造瓦葺で、本堂は上棟木礼によると、享保4年(1719)己亥6月に建立。昭和52年10月6日指定。
		54 旧四日市市役所四郷出張所 (四郷村役場)	四郷地区・西日野町 四日市市	明治時代の建築様式の面影を伝える擬洋風の木造2階建一部3階建塔屋付建物。大正10年に建設。昭和57年2月16日指定。
		55 顕正寺山門	四郷地区・西日野町 顕正寺	江戸時代。旧神戸城大手門を明治9年に解体・移築。高麗門形式で、近世城門の典型をなしている。平成2年3月30日指定。
		56 旧庄屋岡田邸	楠地区・楠町 四日市市	江戸時代～明治時代。主屋・立曾所は木造平屋建、蔵は木造2階建。北勢地方でも現存する数少ない庄屋建物である。平成14年6月28日指定(追加指定:平成14年12月25日)
	絵画	57 広山和尚画像	四日市市立博物館 大樹寺	江戸時代。縦109cm、横51.5cm。画像の上に広山和尚自筆の讃がある。したがって、この画像は肖像である。昭和34年3月25日指定。
		58 仏涅槃図	四日市市立博物館 建福寺	室町時代。縦215.2cm、横166.3cm。図の蓋に「涅槃像大幅兆殿司筆東溟山建福寺什物天文五年春王穀旦」の墨書。昭和35年3月28日指定。

種別		名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日	
有形文化財	彫刻	59 葉師如来坐像	日永地区・日永四丁目葉師寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、漆箔を施す。像高87.5cm。胎内背面に修理の際の墨書がある。昭和31年2月18日指定。	
		60 大日如来坐像	神前地区・寺方町大日寺	平安時代。木造絵材寄木造りで、玉眼、漆箔を施し、総高314cm。昭和31年2月18日指定。	
		61 地藏菩薩坐像	塩浜地区・馳出町一丁目地藏堂	平安時代。木造絵材一木造りで、漆箔を施し、像高43.9cm。左手に宝珠、右手に錫杖を持ち蓮華台に座す。昭和33年2月6日指定。	
		62 釈迦如来坐像	小山田地区・六名町光輪寺	鎌倉時代。木造絵材寄木造りで、通有の如来形像。像高76.5cm。平成3年6月24日指定。	
		63 釈迦如来坐像	内部地区・貝家町上品寺	平安時代。木造樟材一木造りで、漆箔を施す。像高98.9cm。江戸時代後補の膝前材裏面に、修理の際の墨書がある。平成14年1月31日指定。	
		64 釈迦如来坐像	小山田地区・山田町(暁覚寺)釈迦如来坐像・十一面観音菩薩立像保存会	鎌倉時代。木造絵材寄木造で、金泥が残るが、元は漆箔を施していたと考えられる。像高89.0cmで玉眼を施す。平成16年8月19日指定。	
		65 十一面観音菩薩立像	小山田地区・山田町(安性寺)釈迦如来坐像・十一面観音菩薩立像保存会	平安時代。木造絵材寄木造で、金泥が残るが、元は漆箔を施していたと考えられる。像高104.3cm。平成16年8月19日指定。	
	工芸品	66 志野焼狛犬	羽津地区・大宮町志氏神社	志氏神社の社宝。約300年前の製作と推定されている。昭和31年2月18日指定。	
		67 古萬古赤絵龍文大鉢 古萬古赤絵鬮鶏文雪輪手鉢 古萬古灰釉鶴亀陽刻文茶碗	共同地区・中鄙人	江戸時代。いずれも沼波弄山の作。昭和55年6月25日指定。	
	書跡	68 羽津・阿倉川	四日市市立博物館 四日市市	江戸時代。縦190.8cm、横215.5cm。寛延3年(1750)に羽津・阿倉川村で起こった地境紛争の際の判決文書。昭和31年2月18日指定。	
		69 水沢・堂ヶ山 野境紛争の判決文書	小山田地区・堂ヶ山町 四日市市堂ヶ山町自治会	江戸時代。縦250cm、横340cm。宝暦年中(1751~1764)に水沢・堂ヶ山村で起こった野境紛争の際の判決文書。昭和34年3月25日指定。	
		70 六名町古文書	四日市市立博物館 四日市市六名町自治会	江戸時代。当時の六名村の古文書。土地台帳、検見・貢租・宗門・普請関係などの史料がある。昭和34年3月25日指定。	
		71 井島文庫	四日市市立博物館 四日市市	江戸時代。井島家所蔵の検地・貢租・廻船・絵図・地図など。昭和35年3月28日指定。昭和60年1月19日追加指定。	
		72 古文書	四日市市立博物館 四日市市	江戸時代。天春家所蔵の古文書。土地・貢租・宗門・証文・新田開発など300点の史料がある。昭和39年5月28日指定。	
	古文書	73 四日市宿本陣清水家文書	四日市市立博物館 個人	江戸時代～昭和初期。四日市宿の一番本陣を務めた清水太兵衛家に関わる文書群843点。平成19年8月16日指定。	
		考古資料	74 志氏神社古墳出土品	羽津地区・大宮町志氏神社	古墳時代。嘉永5年(1852)3月に発見。出土品には車輪石・勾玉・管玉・小玉・内行花文鏡がある。昭和31年2月18日指定。
			75 茶臼山古墳群出土品 (須恵器群・埴輪群)	四日市市文化財整理作業所 四日市市	古墳時代。平成5年に行った4号墳の発掘調査と平成9年の1号墳の発掘調査で検出した須恵器群・埴輪群32点。平成18年2月23日指定。
			76 御池古墳群出土品 (装飾須恵器・特殊須恵器)	四日市市文化財整理作業所 四日市市	古墳時代。平成3年に行った発掘調査で検出した装飾須恵器と特殊須恵器5点。須恵器有蓋三足壺・須恵器装飾付壺などがある。平成18年2月23日指定。
	77 装飾須恵器 台付三連壺 (北中寺遺跡出土)	四日市市文化財整理作業所 四日市市	古墳時代。平成4年に行った発掘調査で検出した台付三連壺。器高38.8cm。6世紀前半頃のものと考えられる。平成18年2月23日指定。		
	無形文化財	工芸技術	78 四日市萬古焼	〔保持団体〕橋北地区・京町 四日市萬古焼伝統技術保存会	伝統的技術・技法の手ろくる成形・押型成形・手びねり成形・素地模様付け・上絵付けを指定。平成5年8月3日指定・認定。
			79 四日市萬古焼(手ろくる成形)	〔保持者〕富田地区・茂福町 伊藤 敏(号美月)	手ろくる成形において非常に優れた技術・技法を習得し、かつ後継者育成に大変貢献している。平成5年8月3日指定・認定。
民俗文化財	有形	80 椿岸神社獅子頭	桜地区・智積町 椿岸神社	「2人立ち」獅子舞の獅子頭として通有の形態をしている。舌裏に永正6年(1509)の墨書銘がある。平成5年5月10日指定。	
		81 算額	川島地区・川島町 神明神社	江戸時代。絵馬の一種で、和算学者が数学の新しい問題や解法を得た際に額に表して奉納したもので3面ある。平成11年9月28日指定。	
		82 四日市蕉風連中奉納歌仙額	大矢知地区・垂坂町 観音寺	江戸時代。巻末に「元文三年(1738)正月」の墨書銘があり、一二吟歌仙一巻に収める。平成13年7月19日指定。	
	83 奉納御座船模型	富田地区・富田二丁目 鳥出神社	江戸時代に将軍、大名などが乗った御座船の10分の1の模型。奉納例は全国的にも珍しい。平成15年8月21日指定。		
	無形	84 大念仏	四郷地区・東日野町・西日野町 大念仏東日野・西日野保存会	西日野町の西明寺に起こった魔障を禁じたという故事にならって行われる仏教的な行事。昭和30年3月30日指定。	
		85 つんつくおどり	日永地区・日永一丁目 日永つんつくおどり保存会	古くから日永地区に伝わる郷土色豊かな踊り。毎年8月15日を中心に3日間行われる。昭和31年2月18日指定。	
		86 お諏訪おどり	水沢地区・水沢町 お諏訪踊り保存会	毎年7月31日に足見田神社で奉納される水まつり。起源は足見田神社由緒によると、享保5年(1720)。昭和48年1月7日指定。	
		87 北野町獅子舞	県地区・北野町 北野町獅子舞保存会	御籠獅子舞と同じ椿山本流の直伝で、演舞についても、素朴な中にも高度の芸術性を保持している。昭和49年4月17日指定。	
		88 御館獅子舞	三重地区・西坂部町 御館獅子舞保存会	椿山本流の直伝で、古式をよく伝えている。昭和49年4月17日指定。	
		89 市場町獅子舞	保々地区・市場町 市場町獅子舞保存会	豊年の祈願として市場町に伝わる箕田流の獅子舞で、毎年10月9日の殖業神社祭礼で演舞される。昭和49年4月17日指定。	
90 大名行列		共同地区・元町 奴	戦前は久六町の上りと比丘尼町の下りがあったが、現在では比丘尼町(現・元町)のみが残っている。平成4年6月30日指定。		

種別		名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び指定年月日
民俗文化財	無形	91 椿岸神社獅子舞	桜地区・智積町 椿岸神社獅子舞保存会	一時途絶えていたのが、戦後復活された「鳥差しの舞」という他所に見られない舞が伝承されている。平成4年6月30日指定。
		92 磯津の鯨船行事	塩浜地区・大字塩浜 磯津鯨船保存会	鯨船本体などを旧東袋町から購入し、大正9年(1920)から塩崎神社の祭りとして毎年9月21日～23日に演じられている。平成7年6月30日指定。
		93 立阪神社獅子舞	大矢知地区・垂坂町 立阪神社獅子舞保存会	箕田流獅子舞の流れを汲み、激しい動きの獅子舞である。花の舞で手鞠を指定するのは他に見られない演技でもある。平成10年7月27日指定。
		94 生桑長松神社の大鏡餅神事	三重地区・生桑町 生桑町自治会	特殊な形状の大鏡餅を奉納して新年の祝いと一年の無事を祈る神事。平成14年8月29日指定。
		95 南楠鯨船行事	楠地区・楠町 南楠鯨船保存会	鯨船が出されるようになったのは、明治頃といわれる。祭礼の中心となるのは南御見束神社で、鯨船は「龍神丸」と呼ばれる。平成8年8月29日指定。
記念物	史跡	96 志氏神社古墳	羽津地区・大宮町 志氏神社	古墳時代。北勢地方屈指の前方後円墳。前方部は破壊され、現在後円部のみが保存されている。昭和30年3月30日指定。
		97 大膳寺跡	羽津地区・南いかるが町 四日市市	平安時代。比叡山延暦寺中興の慈恵大師の直弟子である覚鎮がいかるが山のふもとに建立した平地の寺院。昭和30年3月30日指定。
		98 浜田城跡	浜田地区・鶴の森一丁目 四日市市	室町時代。文明2年(1470)に田原美作守忠秀が築城。城跡の一部は現在の鶴の森公園として活用。昭和30年3月30日指定。
		99 経塚公園	下野地区・北山町 四日市市北山町自治会	公園内には、経塚と樹齢数百年を数える松の大樹と安政6年(1859)に安置された石地蔵などがある。昭和31年2月18日指定。
		100 万葉史跡と聖武天皇社	富洲原地区・松原町 聖武天皇社	安貞元年(1227)にここを朝明頓宮跡として神社が創建されたものと伝えられている。昭和31年2月18日指定。
		101 羽津城跡	羽津地区・羽津山町 四日市市	室町時代。応永年間(1394～1428)に田原美作守盛宗が築城。城跡は現在公園として活用。昭和31年2月18日指定。
		102 泗水の井戸	共同地区・北町 建福寺	四日市陣屋を中心にあった水質・水流ともに豊かな4つの井戸のうちの一つ。井戸は石のくりぬぎ。昭和35年3月28日指定。
		103 茂福城跡	富田地区・茂福町 四日市市	室町時代。平維茂の子孫平貞冬が越前国朝倉より来て築城。近鉄名古屋線の東側の一部が保存されている。昭和49年10月23日指定。
		104 富田一本松	富田地区・東富田町 富田文化財保存会	樹齢700年。昔伊勢湾を航行する船がこの松を目印にした。伊勢湾台風以降衰弱枯死。昭和49年10月23日指定。
	105 冠山茶の木原	水沢地区・水沢町 四日市市 冠山茶の木原保存会	水沢地区の製茶の発祥地であり、延喜年間(901～922)に地元の僧が唐伝来の茶の木を植えて栽培したのが始まり。昭和56年3月26日指定。	
天然記念物	106 大樟	小山田地区・堂ヶ山町 神明社氏子総代	樹齢800年。根まわり約21m、樹高約24m、樹冠は東西約37m、南北約25m。四日市最大の樟の木。昭和34年3月25日指定。	
	107 桜町シデコブシ群落	桜地区・桜町 個人	モクレン科の一種で、非常に分布範囲の限られた植物。幼木と、樹高4mの成木が約10数株群生。昭和57年2月16日指定。	

(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律で認定を受けている文化財(国認定文化財)

種別		名称	所在地・所有者(管理者)	概要及び認定年月日
工芸品	1	陶製灯籠 (萬延元年射和萬古製)	四日市市文化会館 四日市市	江戸時代。高さ174cm、上笠の径50cm。沼波弄山の系統をひく射和萬古で、薄緑色の釉薬が流れ、風雅な姿を保つ。昭和10年12月18日認定。
書跡	2	金銀泥絵料紙 墨書御陽成天皇宸翰	港地区・中納屋町 個人	縦93.2cm、横32.6cm。「光陰空莫亘」の文字が書かれている。昭和17年12月16日認定。

1. 指定文化財の所有者と管理者が異なる場合は、管理者を代表とした。
2. 指定文化財の所有者(管理者)は、指定書にしたがったが、一部変更されているものもある。
3. 文化財保護法で指定を受けている文化財(国指定文化財)のうち、地域を定めず指定されている特別天然記念物カモシカ・天然記念物コクガンは表中には入れていない。
4. (旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律(昭和8年4月1日 法律第43号)は、文化財保護法(昭和25年5月30日 法律第214号)の制定に伴い、同法附則第114条で廃止されている。ただ、同法附則第116条の規定により、同法施行の際現に(旧)重要美術品等ノ保存ニ関する法律第2条第1項の規定により認定されている物件については「同法は当分の間、なお効力を存する。」とされている。
5. 指定文化財・登録文化財は、いずれも平成20年6月1日現在のものである。

国・県・市指定文化財種類別・指定別一覧表

種類別 指定別	有形文化財							無形文化財		民俗文化財		選択 保存	記念物			伝統的 建造物群	計
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	古文書	考古資料	芸能	工芸技術	有形	無形		史跡	名勝	天然 記念物		
国指定	2	-	3	1	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	3	-	13
県指定	-	5	9	5	1	-	1	-	-	3	-	-	6	-	1	-	31
市指定	5	2	7	2	5	1	4	-	2	4	12	-	10	-	2	-	56
計	7	7	19	8	7	1	5	-	2	7	13	1	17	-	6	-	100

地域を定めず指定されている国指定特別天然記念物カモシカ・コクガンを除く。

(旧)重要美術品等ノ保存ニ関スル法律で認定を受けている文化財を除く。

	建造物	計
国登録	7	7